

II-B-24

寄生虫症に有効な和漢薬の研究（第1報） —安中散に含まれるアニサキスI型幼虫活動抑制物質—

東京都立衛生研究所

○安田一郎，村田以和夫

目的 近年我国における魚介類の生食嗜好ブームは，鮮魚流通機構の発達と相まって，高級魚のみならず大衆魚介類にまで及ぶようになった。イワシ，タラ，サバ，スルメイカ等は，クジラ，アザラシ等海産哺乳動物を終宿主とする *Anisakis* 亜科幼線虫の主要な中間宿主であるが，その幼虫寄生率は調査海域によりかなり高い数値となっている。胃等に激しいけいれん性の痛みをともなう *Anisakis* 症はこれら幼虫により引き起されるものであるが，本症の予防，治療に有効な薬剤は明らかにされていない。そこで今回，*Anisakis* I型幼虫に活動抑制効果を示す漢方製剤及び生薬のスクリーニングを行い，また，強い活動抑制効果を示す安中散（散剤）中の活性成分を検討した。

方法 *Anisakis* I型幼虫はスケソウダラより採取し，活発なS字運動を示すものを集め，1群を5～7匹とした。被験液には，各種漢方製剤についてはその1日量を0.4%魚介類用生理食塩水（NaCl水）150 mlで，また各種生薬についてはその粉末3.0 gをNaCl水30 mlで，それぞれ30分間振とう抽出し，遠心分離後の上澄液20 mlを用いた。そしてこれらの被験液中で，10分，60分及び1日経過した後の幼虫の運動性を各群毎に観察した。

結果及び考察 漢方エキス剤20種，散剤3種のうち，散剤である安中散，平胃散に強い活動抑制効果を，エキス剤である安中散，平胃散，桂枝湯，四逆散に弱い活動抑制効果を認めた。なお本幼虫の寒天ゲル侵入能力は安中散（散剤）抽出液3時間処理によって全く消失したことから，本幼虫を完全に殺滅し得ないとしても胃腸壁侵入能を失活させ，発症が抑えられる可能性がある。

約150種の生薬のうち，細辛，宇金，茵陳蒿，木香，山椒，山奈，杏仁，桃仁，古立蒼朮等24種に，致死のあるいは強い活動抑制効果を認めた。安中散構成生薬のうち，茴香，桂皮，縮砂，良姜に同様な効果が現われることから，茴香について検索を行い，活性成分として *anethole* を単離した。また，桂皮に含まれる *cinnamic aldehyde* にも同程度の抑制効果を認めたが，これらはワサビの活性成分として既に報告されている *allyl isothiocyanate*，*phenyl isothiocyanate* に比較するとやや弱いものであった。

文献 1) 川島健治郎，浜島房則：寄生虫学雑誌 15, 507 (1966)